

協働による 地域活性化 への挑戦

—暮らしと福祉の「多機能複合拠点」その可能性を探る—

2011年7月、少子高齢化が進む郊外住宅地に高齢者の住まい、サービス施設、診療所に加えて、子育て支援施設や児童デイサービス、それに生協のお店やレストランなどを複合した、全国で初めてとなる多世代、多機能を複合した生活拠点が誕生しました。暮らしと福祉の「多機能複合拠点」を話題の中心に据えて、様々な事業者による協働の可能性、地域住民からみた期待、そして、ワーカーズコレクティブや複合の相乗作用を生かした経営の可能性等について考えます。このフォーラムに、これからの事業者と地域の協働のあり方、多機能複合拠点による地域活性化のゆくえがかかっていると言っても過言ではありません。

フォーラム実行委員長 池田 徹 / AHLA 代表幹事 小林秀樹

<プログラム>

◇13:00～ 基調講演

「これからの地域のあり方～長久手方式の実現に向けて～」

愛知県長久手市長 吉田一平(よしだいっぺい)さん

◇15:00～ シンポジウム

- ・いなげビレッジ虹と風の実践報告
- ・ココファン日吉の実践報告
- ・UR都市機構の実践報告
- ・いなげビレッジ虹と風の調査結果報告

コーディネーター

小林秀樹さん(AHLA代表幹事/千葉大学教授)

コメンテーター

吉田一平さん(ゴジカラ村代表/愛知県長久手市長)

2012年11月10日(土)

13:00～17:00

千葉大学・15号棟110教室

参加費/2000円(千葉大生無料)

AHLA会員/学生1000円

後援：千葉大学

主催：もうひとつの住まい方推進協議会(AHLA)

AHLA フォーラム 2012 実行委員会

TEL 03-3205-6840 <http://www.ahla.jp>

